

日時 2月7日(火)

内容 (1)講義

講師 京都府総合教育センター 主任研究主事兼指導主事 芦田有一

(2)研修受講者から実践発表

発表者 亀岡小学校 教諭 畑山 瞳

※府総合教育センターと市教育委員会の連携による

研修講座「小学校国語5年」の出前講座を受講

(3)研究協議、まとめ

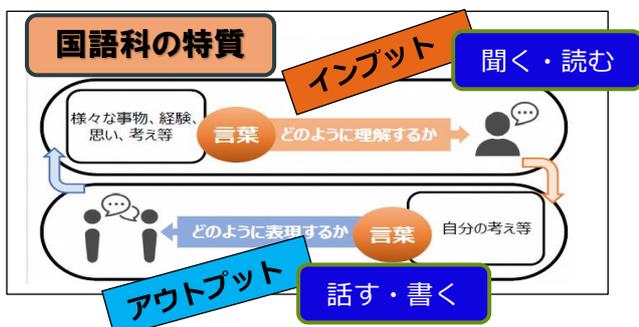


## (1)講義内容

「小学校国語指導で今求められていること」

○国語は「ことばの勉強」である。

よく聞けて、よく話せて、よく読めて、よく書ける



○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ①単元や題材など内容や時間のまとまりを見通すこと。
- ②教科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方が鍛えられていくこと
- ③過程を重視した学習の充実を図ること

## (2)実践発表

○小さな成果「ちりつもタイム」

- ・毎時間 5分程度
- ・ワーキングメモリーの訓練

合 食 糸 ⇒ ? 給食  
 日 日 門 寺 ⇒ ?  
 漢字リレー 等々  
 他教科にも 地図しりとり  
 フラッシュ計算等

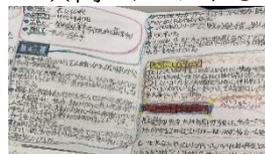


指導者も楽しんで授業!

単元デザイン!

○各単元で大切にしたこと

- ・物語文「たずねびと」
- ・説明文「固有種が教えてくれること」
- ・伝記「やなせたかしーアンパンマンの勇氣」から
- ☆単元構成 ☆単元でつきたい力(ゴール)を明確
- ☆問いにこだわること



## <参加者の感想>

国語について、校内の研究推進ではなかなか勉強できないので、こういう機会をいただきありがたく思います。具体的な単元の学習方法や手立てを知り、日々の学習に生かしたい。

講義では、もう一度学習指導要領に目を向けて国語科の目標や言葉による見方、考え方について理解を深め教材や日々の子どもたちに向き合おうと思うことができた。本校は小規模校ということもあり、先生方の実践から学ぶ機会が少ないためこのように講義だけではなく、実践発表があれば非常に良い学びになる。

実践報告や理論研修から、普段の疑問が少し解消された。すぐに学校で使えるものもあったので、非常に参考になった。

「単元をデザインする。」こんなことがどの教科、単元でもできたらいいと思いました。また、教科書だけで授業を進めるのではなく、ゲーム感覚で語句を増やす、語彙の質を高めることをする。それを授業の中で活用する授業は子どもたちが楽しめていいと思いました。



話す・聞く・書く・読むなど国語の必要な力を授業時間や設定時間を上手く計画しながら、実践をしていきたいと思いました。特にちりつもタイムやリーフレットの書かせ方は参考になりました。

国語科では「語彙が乏しいこと」や「論理的に文章を書くことが難しい」という悩みがありました。今回の研修では、同じ学年担当の先生方との交流であったので、同じ悩みがあることを知れたり、相談に乗っていただいたりでき有りました。「学習」ではあるけれども「楽しみながら学ぶ」ことを意識した授業づくりをしていきたいです。